

輸送動向について(11月分)

平成 16 年 12 月

1. 輸送概況

今月は、10月23日に発生した新潟県中越地震により上越線(小出駅～宮内駅間30.4km)及び信越線(柏崎駅～南長岡駅間35.7km)が不通となっていたが、信越線については11月29日に開通した。しかしながら、上越線は依然として不通となっており、この間の影響で高速貨707本、専貨155本が運休となった他、11月11日に発生した東海地区での大雨による輸送障害等により、合わせて、高速貨822本、専貨159本が運休した。この結果、月全体の輸送量は、前年比94.2%となった。

なお、信越線復旧後も、上越線不通区間の輸送対策として、5往復の迂回列車を運転するとともに、トラックによる代行輸送を実施し、引き続き輸送力の確保に努めている。

コンテナ貨物では、自動車部品は好調に推移したものの、政府米及び地震の影響により民間流通米が減送となった農産物の他、生野菜・青果物、食料工業品が前年を大幅に下回り、前年を上回った積合せ貨物等を含め、各品目とも地震の影響を受け、コンテナ全体では前年比96.1%となった。

車扱貨物では、石灰石が前年を上回ったものの、一部に地震の影響を受けたセメント、紙・パルプ等、全ての品目が前年を下回り、車扱全体では前年比91.3%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,854	1,928	96.1%	14,703	14,512	101.3%
車 扱	1,236	1,354	91.3%	9,056	9,505	95.3%
計	3,090	3,282	94.2%	23,759	24,017	98.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	90	145	-55	62.1%
	生野菜青果物	105	115	-10	91.3%
	化学工業品	185	184	1	100.5%
	化学薬品	144	142	2	101.4%
	食料工業品	282	295	-13	95.6%
	紙パルプ等	282	288	-6	97.9%
	他工業品	128	123	5	104.1%
	積合せ貨物等	216	212	4	101.9%
	自動車部品	45	37	8	121.6%
	工コ関連物資	36	38	-2	94.7%
	そ の 他	341	349	-8	97.7%
	コンテナ計	1,854	1,928	-74	96.1%
車 扱	石 油	788	795	-6	99.2%
	セ メ ン ト	109	188	-79	58.0%
	石 灰 石	60	59	1	101.5%
	車 両	135	142	-8	94.6%
	紙・パルプ	39	48	-9	81.6%
	化学工業品	39	51	-12	76.1%
	そ の 他	67	71	-4	93.9%
車 扱 計	1,236	1,354	-117	91.3%	
合 計		3,090	3,282	-192	94.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)